

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

供給者の会社名	SDS Solutions
供給者住所	〒220-0072 神奈川県横浜市西区浅間町1丁目4番3号 402
電話番号	050-5875-8711
緊急連絡先電話番号	050-5875-8711
製品名	サンプル A
推奨用途及び 使用上の制限	温度調整用冷媒 推奨用途以外に使用しない

説明：
化学品の供給者の情報、製品名や推奨用途を記載します

2. 危険有害性の要約

GHS 分類	皮膚腐食性／刺激性 区分2 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 区分2 水生環境有害性 短期（急性） 区分3
--------	---

GHS ラベル要素
絵表示または
シンボル



説明：
GHS 分類、それに応じたラベル要素を記載します

注意喚起語	警告
危険有害性情報	皮膚刺激 強い眼刺激 水生生物に有害
注意書き	
安全対策	取扱い後は手をよく洗うこと。 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
応急措置	皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合：医師の診察／手当てを受けること。 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
廃棄	内容物／容器を国、都道府県、又は市町村の規則に従って廃棄すること。

GHS で扱われない他の危険有害性 なし

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

化学名または一般名	濃度または濃度範囲（重量）		
水	50 - 60		
物質 A	30 - 40	営業秘密	営業秘密
物質 B	10 - 20	1-234	1234-56-7

説明：
構成成分情報を記載します。
一定の要件を満たせば、営業秘密とすることも可能です。

構成成分や化学名、濃度範囲の一部は、営業秘密により非開示としている場合があります

4. 応急措置

吸入した場合：

新鮮な空気のある場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢をとり、医師の診断／手当てを受ける。

皮膚に付着した場合：

すぐに石鹼と大量の水で洗浄する。症状が生じた場合は、医師の診断／手当てを受ける。

眼に入った場合：

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。症状が生じた場合、医師の診断／手当てを受ける。

飲み込んだ場合：

水で口の中をよくすすぐ。コップ1、2杯の水を飲む。症状が生じた場合、医師の診断／手当てを受ける。

説明：
危険有害性など、化学品製品
の特性に応じた応急措置の
情報を記載します。

急性及び遅発性症状の最も重要な兆候症状：

吸入：通常の使用条件下では予想されない

皮膚：痛み、発赤、刺激性

眼：痛み、発赤、刺激性

経口：通常の使用条件下では予想されない

応急措置をする者の保護及び医師に対する特別な注意事項：

なし

5. 火災時の措置

適切な消火剤／特有の消火方法：

水、泡消火剤、粉末消火剤、二酸化炭素を使用

使ってはならない消火剤：

棒状放水

火災時の特有の危険有害性：

火災等の場合は、毒性の強い分解生成物が発生する可能性がある。

消火を行う者の特別な保護具及び予防措置：

適切な空気呼吸器、防護服を着用する。

説明：
危険有害性など、化学品製品の特性に応じた火災時の措置の情報を記載します。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：

関係者以外の立入りを禁止する。

作業者は適切な保護具（「8. ばく露防止及び保護具の着用」）を着用し、皮膚との接触や吸入を避ける。密閉された場所に立ち入り禁止。

環境に対する注意事項：

環境への放出を避ける。

封じ込め及び浄化の方法及び機材：

危険でなければ漏れを止める。少量の場合、ウエス、雑巾等によく拭き取り適切な廃棄容器に回収する。大量の場合、盛土等で囲って流出を防止する。排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

説明：
危険有害性など、化学品製品の特性に応じた漏出時の措置の情報を記載します。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

「8. ばく露防止及び保護具の着用」に従って保護具を着用する。

安全取扱注意事項

設備の設置等により排出防止を図る。この製品を使用する時は、廃棄物として再使用する場合には

保管

適切な保管条件／

避けるべき保管条件

直射日光を避け、冷暗所に保管する。高温物を近づけない。容器包装材料 破損や漏れの無い密閉可能な容器を使用する。

説明：
危険有害性など、化学品製品の特性に応じた取扱いや保管の情報を記載します。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度等

化学名または一般名	労働安全衛生法 管理濃度	日本産業衛生学会 許容濃度	ACGIH TLV
物質 A	設定なし	TWA: 100 ppm	TWA: 100 mg/m ³ STEL: 1000 mg/m ³
物質 B	設定なし		

説明：
専門機関によって設定されている許容濃度、保護具などの情報を記載します。

保護具

呼吸用保護具

ばく露が予想される場合

手の保護具

ばく露が予想される場合

眼、顔面の保護具

ばく露が予想される場合、適切な保護眼鏡やゴーグルを着用する。

皮膚及び身体の保護具

ばく露が予想される場合、適切な保護衣等を着用する。化学薬品が浸透しない材質のものを着用する。

設備対策

高温下や、ミストが発生する場合は換気装置を使用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	液体
色	赤色
臭い	なし
融点／凝固点	データなし
沸点又は初留点	90℃
可燃性	可燃性なし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	データなし
引火点	データなし
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	9.5
動粘性率	データなし
溶解度	水に易溶
n-オクタノール／水分配係数 (log 値)	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び／又は相対密度	0.9 - 1.0 g/cm ³
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし

説明：
化学品製品の物理化学的な情報を記載します。

10. 安定性及び反応性

反応性	なし
化学的安定性	通常の条件では安定
危険有害反応可能性	通常の取扱い条件下で
避けるべき物理的条件	直射日光を避け、冷暗
混触危険物質	強酸化剤
危険有害な分解生成物	データなし

説明：
化学品製品の反応性や安定性の情報を記載します。

11. 有害性情報

急性毒性

LD50 > 1000 mg/kg (物質 A)、
LD50 > 2000 mg/kg (物質 B)

皮膚腐食性/刺激性

皮膚刺激性(物質 A)

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

眼に対する刺激性(物質 A)

呼吸器感作性

データなし

皮膚感作性

感作性なし(物質 A、物質 B)

生殖細胞変異原性

Ames 試験：陰性(物質 A、物質 B)

発がん性

データなし

生殖毒性

データなし

特定標的臓器毒性 (単回ばく露)

データなし

特定標的臓器毒性 (反復ばく露)

データなし

誤えん有害性

データなし

説明：
化学品製品の人健康に関する有害性情報を記載します。

12. 環境影響情報

生態毒性：水生環境有害性

水生生物に有害（物質 A）

生態毒性：生態蓄積性

データなし

オゾン層への有害性

モントリオール議定書の附属書に列記される物質は含まれていない

残留性・分解性

データなし

土壤中の移動性

データなし

説明：
化学品製品の環境影響に関する有害性情報を記載します。

13. 廃棄上の注意

環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分方法が定められている場合は、都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者等に委託して処理している場合はそこに委託して処理する。

説明：
化学品製品の廃棄方法等の情報を記載します。

14. 輸送上の注意

国連番号

品名（国連輸送名）

国連分類

容器等級

海洋汚染物質

特別な注意事項

MARPOL73/78 附属書 II 及び IBC コード

よるばら積み輸送される液体物質

国内規制情報

該

該

該

該

該当しない

該当しない

説明：
輸送法に関する番号や分類等の情報を記載します。

消防法、道路法、船舶安全法、航空法に従う

15. 適用法令

該当法令の名称及びその法令に基づく 規制に関する情報

労働安全衛生法

名称等を表示すべき危険物及び	物質 A
有害物／通知対象物	物質 B
皮膚等障害化学物質	物質 A
化学物質排出把握管理促進法(化管法)	
第一種指定化学物質	物質 A
化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律	
優先評価化学物質	物質 A
毒物及び劇物取締法 毒物及び劇物	該当しない
消防法 危険物及び指定可燃物	該当しない

説明：
国内法に関する該非の情報を記載します。

16. その他の情報

参照規格及び引用文献

労働安全衛生法 管理濃度
 日本産業衛生学会 許容濃度等の勧告
 米国 産業衛生専門家会議 (ACGIH), Threshold Limit
 Physical Agents and Biological Exposure Indices
 JIS Z 7253 : 2019(GHS に基づく化学品の危険有害性情
 安全データシート (SDS))

説明：
略語や参照規格/文献を記載します。また、必要に応じて免責事項等を記載します。

略語

- 化審法：化学物質の審査および製造等の規制に関する法律
- 安衛法：労働安全衛生法
- 化学物質排出把握管理促進法(化管法)：特定化学物質の環境への排出量の把握等および管理の改善の促進に関する法律
- GHS: Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals (化学品の分類及び表示に関する世界調和システム)
- ACGIH TLV: American Conference of Governmental Industrial Hygienists Threshold Limit Values (米国産業衛生専門家会議許容濃度値)
- TWA: Time Weighted Average (時間加重平均)
- STEL: Short Term Exposure Limit (短時間暴露限界値)
- IATA: International Air Transport Association (国際航空運送協会)
- JIS: Japanese Industrial Standards (日本産業規格)